

OFG

大山崎ふるさと
ガイドの会だより



宝積寺三重塔
2班 山本喜三郎 画

発行日 令和4年1月1日
 発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)
 発行責任者 矢内章太
 連絡先 大山崎町歴史資料館内
 TEL 075 (952) 6288 FAX 075 (952) 6289
 URL <https://www.kyoto-ofg.org/>

168号

新年のご挨拶

会長 矢内 章太



新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで新しい年をお迎えのことと存じます。本年も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

今年の干支は「寅」(36年に一度の「五黄の寅」)です。寅年は春が来て根や葉が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態の年とされています。初心に帰って自己啓発に努め、健康で活動できることを祈念します。

一昨年からの新型コロナ感染拡大予防対策のために総会も一昨年は実施できず、昨年は会員のみの総会で懇親会ができず、会員相互の交流もできない状況が続いており、会員のモラルダウンに繋がっているのではと危惧しています。

昨年9月末に緊急事態宣言が解除されましたが10月末までは対外活動は中止し、11月から申込ガイド、旗立松・瓦窯跡公園・山荘美術館庭園での定点ガイド、資料館の館内ガイドを再開しました。自粛生活の疲れを癒すために外出する人が多くなったのか、定点ガイドでは多くの人に案内ができて、ガイドの感覚を取り戻すことができたと感じています。

残念なことは、「養成講座準備委員会」から「養成講座実行委員会」に移行して実施する予定だった

「第10回ふるさと案内人養成講座」を早々とコロナ禍のために、来年度初めからの実施へと延期せざるをえなかったことです。

会員の高齢化と会員数の減少、コロナ禍で活動が制限されたことによる会長候補対象者の減少、地域交響プロジェクト交付金の終了等々OFGを取り巻く環境は厳しさを増してきています。会員の皆様の知恵をお借りしながら今後の体制づくりと方向づけをして26年の歴史があるOFGを維持・発展させる努力が必要と感じております。

今後も新しい変異株(オミクロン株)等の影響が出ると思いますが、コロナ対策をしながら「第10回ふるさと案内人養成講座」を開講して会員の増員を図る必要があると思っておりますので、受講者募集への協力をお願いします。

その他の活動も過去の経験を活かして、コロナとうまく付き合いながら活動できる方法を模索して新しい体制と方法を構築して行く必要があると思えますし、それを乗り越えるためには皆で知恵を出し合っていかなければならないと思えます。

来年度は「第10回ふるさと案内人養成講座」を開講して会員の増員を図るとともにOFGを維持・発展させるために努力を続けていきましょう。

皆様と皆様の家族にとってこの寅年が素晴らしい年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

11月～12月の主な活動実績

- ・11月より土日祝日に定点ガイド実施
- ・11月5日(金) 大阪府北部コミュニティーカレッジ 43名
- ・11月7日、14日、21日(日)長岡京市泉が丘自治会 21名
- ・11月10日(水) 関西小樽会 16名
- ・11月19日(金) 八幡市二・三地区福祉委員会 29名
- ・11月26日(金) 京都SKY大学同窓研修会 24名
- 会の行事・学習会等
 - ・11月15日(月) 歴史ウォーキング2021.秋 13名
 - ・12月13日(月) あちこち学習山歩 ⑤4 11名
- 全体学習会
 - ・12月5日(日)「油祖 離宮八幡宮」禰宜 津田定豊氏
 - ・12月10日(金)14日(火)「観音寺」
- 見学研修会「霊山歴史館・京都霊山護国神社」
 - ・各人で年内に拝観・学習、幹事に報告する。

活動予定

- OFG 歴史講演会 (12月4日の講演は、実施済み)
 - ・12月4日(土)「近江南部の戦国大名一六角氏について」新谷和之氏(近畿大学文芸学部特任講師)
 - ・2月6日(日)「豊臣秀吉の城づくり 山崎城から京都新城まで」講師 福島克彦氏(大山崎町歴史資料館館長)
- 3月26日(土) 水辺の散策
- ☆歴史資料館第29回企画展
 - ・「大山崎神人と豊臣秀吉」10/23(土)～11/28(日)
- ☆歴史資料館連続講演会
 - ・11月20日(土)「織豊期検地研究の新展開からみた大山崎」前田徹氏(兵庫県立歴史博物館学芸員)
 - ・11月27日(土)『井尻家文書』の世界 福島克彦氏(大山崎町歴史資料館館長)

11～12月ガイド実績

┌ 定点ガイド累計 408件、 1126人 ┐

	一般ガイド		歴史資料館		(定)旗立松		(定)瓦窯跡		(定)山荘庭園		合計	
11～12月	10件	149人	86件	101人	175件	613人	122件	241人	111件	272人	504件	1376人
令和3年度累計	16件	318人	162件	221人	175件	613人	122件	241人	111件	272人	586件	1665人

「裸足歩行の効能」



定年退職後の翌年 2013 年に大学に入り直し 20 歳前後の人達と勉学を共にする貴重な体験をし、著書“還暦の同志社”を自費出版しました。そして 2021 年 3 月に『ふるさとガイドの会』に参加させて歩き活動を始めたばかりの新人です。ガイドの学習を深める程、大山崎町の歴史、風土の重みを感じています。ガイド歴はまだまだ浅いですが、健康促進及び頭の活性化には申し分ない活動であり大変楽しく勉強させて頂いております。ただ、新しく入会する人が少なく、高齢化が進みつつありますので関心のある方の入会をお待ちしております。

さて私が最近ハマっている事は裸足歩行です。週に 2、3 回淀川河川敷を 2km 程歩いており、最初は痛くて長く歩けなかったのですが現在は気持ちよく歩けるようになりました。足裏は多くの内蔵器官の末梢神経が集まっていますので、ここを刺激すると各器官の活性化、血行促進、新陳代謝の増進、自然治癒力の向上など、足裏マッサージと同じような効果があるとされていますので皆様にもお勧め致します。

(1 班 池内 泉 記)

わたし こんなん しています

「昔話の語りを楽しんで」

小学校で絵本の読み聞かせを始めて以来、子どもの文化にのめり込んで、今は昔話を語る活動をしています。覚えたお話しを何も見ないで語るもので、主に乙訓の小学校、幼稚園、保育所、図書館等で子どもたちに語っています。

場面の絵を描きながら覚えて語り、聞き手の子どもたちと共に想像の世界を楽しむのは至福の時間！大笑いしたり、息をのんで次の言葉をじっと待っていたり、ホッと安堵したり・・・空気が変わるのを感じるのはいずれの瞬間です。でも、聞き手にうまく伝えるのは難しいこと。もちろんまだまだ修行中！

似たお話が国を超え、日本の中にもたくさんみられるのはおもしろいです。行商人や旅人、また他の人々が、耳から聞いた話を足したり削ったりしながら伝えていったのかもしれない。

長い歳月をかけて守られ、築き上げられてきたものを伝えていく作業は OFG の活動に似ているかなと思っています。

その他にもいろいろな趣味や活動をしていますが、今は人権にかかわるボランティアが一番多くの時間を費やしています。とにかく好奇心！これからもワクワクできる毎日を送っていきたいと思っています。

(2 班 北野節子 記)

OFG 歴史ウォーキング・2021 秋

今出川通り周辺—多様な歴史に感動

11 月 15 日、集合地の出町柳に集まったのは 13 人。私は京都御所の西北に生まれ育った。良く見知っている地域だが、木村嘉男氏の案内で新発見が多く、近年整備された史跡もあり勉強になった、素晴らしい一日だった。河合神社は下鴨神社の摂末社、鴨長明は、この神社の神官の家系に生まれた。境内には長明が晩年過ごした方丈の庵が再現されている。

出町商店街を抜けると幸神社があり、鬼門の東北を睨みつける猿の神像を参拝した後、京都御苑へ。京都御所の東北角には猿が辻の猿。この猿がつなぐ鬼門の線は比叡山を超えて日吉大社へ続くそうだ。

御所を抜け、相国寺へ向かう途中、冷泉家の話。冷泉さんは最期の公家屋敷。時雨亭文庫には、藤原定家自筆本等国宝 5 点等を含む古典籍が伝えられている。凄い、凄すぎる。

相国寺の墓地には藤原定家、足利義政、伊藤若冲の墓が並んである。時代も役目も違う歴史上の有名人が並んで設置されて微笑ましい。

小川通りに三つの千家 がある。茶道の聖地で、一般住宅に見られる電柱、空中電線がない。凄い景観だ。時代劇映画ロケに最適な場所だ。大山崎も少し歩けば、史跡や神社仏閣等に出合い有難いが、京の街歩き



は質量ともに格段に高い物だった。

(2 班 澤田僚一 記)

藤原定家、足利義政、伊藤若冲の墓
— 相国寺の墓地にて —

あちこち学習山歩 ⑤4

戦国動乱の歴史が残る黒井城へ!!

12 月 13 日に OFG シニアの皆さん 10 名が青春 18 きっぷを使って、山崎駅から一路黒井駅へ。3 時間近い乗車でした。現地到着後、前会員 1 名合流し、丹波市ええとこガイド会の女性案内で標高 356m の山頂を目指し登山開始。山中には曲輪、堀切などの防衛の遺構があり、急な坂道を 1 時間余りかけて、登頂出来ました。

山頂では晴れて、360 度見渡せる山々が絶景な眺めで、平らな広い場所に本丸、北の丸、西の丸などの城跡がありました。この黒井城は南北朝時代に砦を築いてから、戦国動乱には丹波の赤鬼と言われた赤井直正が城主となり、勢力を拡大しましたが、天正 7 年 (1579) に明智光秀の大軍の前に落城しました。ガイドから当時の戦いや遺構の歴史話を興味深く拝聴しました。

山頂から見渡すと、今から 450 年程前に信長から丹波平定を命ぜられた光秀の壮絶な戦いの様子を垣間見ることが出来ました。落城後は光秀の重臣斎藤利三が城主になり、統治した陣屋の興禅寺で生まれたのがお福、後の春日局です。駅前にはお福の像があり、町のシンボルになっています。

帰りは JR が沿線事故のため、宝塚で阪急電車に乗り換えて、無事大山崎に着きました。日頃はなかなか行けない場所であり、学習と山歩きが出来た楽しい一日でした。お疲れ様でした。

(3 班 野尻裕三 記)

